

図-3 カリキュラムマップ

卒業	入学	到達目標 (D P)	(1)人は、身体的・精神的・社会的側面を持つ存在であると理解している	(2)看護対象者の健康段階・発達段階に応じた看護を実践している	(3)看護の本質を学び、自己の看護観を持っている	(4)学修を通して、状況に応じた人間関係を築いている	(5)自己成長のための努力をしている	(6)地域の特性を理解し看護に反映している		
		3年次履修	後期		統合実習					
			通年	臨床看護学実習I・II	老年看護学実習I・II 小児看護学実習II 母性看護学実習 精神看護学実習	医療安全管理			△プレゼンテーション技法 臨床看護研究セミナーII	在宅看護論実習
			前期			災害・国際看護			臨床看護研究セミナーI	
		2年次履修	後期	○リハビリテーション論 臨床看護援助論III がん・ターミナル看護 周手術期看護		基礎看護学実習II (12月) 看護過程の実際 老年看護援助論III 小児看護援助論II・III 母性看護援助論III 精神看護援助論III 地域・在宅看護援助論 在宅看護援助方法論	看護福祉論		△看護の統計学 看護研究	
			前期	小児看護学実習I(8月)						
				○疾病・治療論各論I・II・III・IV ○精神疾病・治療論 ○小児疾病・治療論 ○老年疾病・治療論 臨床看護援助論I・II 母性看護援助論I・II		△情報システム論 看護過程の実際 老年看護援助論I・II 小児看護援助論I 精神看護援助論I・II 公衆衛生看護学概論 在宅看護論	○生命倫理		○保健医療福祉論	
		1年次履修	後期	○栄養学 ○病原微生物学 ○人体構造機能学各論III・IV ○病態生理学 ○疾病・治療論総論 ○薬理学 ○公衆衛生学 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論		○法学 看護理論 看護過程の基礎 診療援助技術論 成人看護学概論			△英語II	
			前期	○健康と運動 ○生化学 ○人体構造機能学各論I・II □心理学 ◇生活科学		看護学原論 生活援助技術論	□人間関係論 □グリーフケア □ストレスと癒し □手話 ◎人権と福祉 ◇接遇 ◇地域ボランティア演習	□言葉と表現 □感性を高める表現 ◎市民社会と生活 △英語I	◇家族論	
		<p>○ひとの命と健康を考える □ひとの可能性を考える ◇ひとの生活を考える ◎ひとの権利を考える △学修の基礎力を培う</p>								
		入学生の受け入れ方針 (AP)	<p>・人の健康、生活、医療に興味・関心がある ・誠実に人と向き合える ・人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる ・周囲のできごとを自分のこととしてとらえ、感じられる ・入学後の学修に必要な基礎学力がある</p>							

※アンダーラインは選択科目